



2026年3月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年11月5日

上場会社名 ゼリア新薬工業株式会社 上場取引所 東
コード番号 4559 URL <https://www.zeria.co.jp/>
代表者 （役職名）代表取締役社長兼COO （氏名）伊部 充弘
問合せ先責任者 （役職名）広報部長 （氏名）田村 宏一 TEL 03-3661-1039
半期報告書提出予定日 2025年11月7日 配当支払開始予定日 2025年12月1日
決算補足説明資料作成の有無：有
決算説明会開催の有無：有（証券アナリスト・機関投資家・報道機関向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2026年3月期第2四半期（中間期）の連結業績（2025年4月1日～2025年9月30日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 中間純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
2026年3月期中間期	39,960	△5.8	3,641	△43.6	2,656	△66.6	1,737	△71.3
2025年3月期中間期	42,422	15.7	6,459	21.2	7,949	44.6	6,061	12.3

（注）包括利益 2026年3月期中間期 3,073百万円（△68.3％） 2025年3月期中間期 9,709百万円（△13.7％）

	1株当たり中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり中間純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期中間期	39.42	—
2025年3月期中間期	137.51	—

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	％
2026年3月期中間期	158,736	91,809	57.8
2025年3月期	159,171	89,797	56.3

（参考）自己資本 2026年3月期中間期 91,671百万円 2025年3月期 89,539百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	23.00	—	24.00	47.00
2026年3月期	—	24.00	—	—	—
2026年3月期（予想）	—	—	—	24.00	48.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2026年3月期の連結業績予想（2025年4月1日～2026年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	円 銭
通期	90,000	3.1	12,000	△1.6	12,000	△6.5	9,500	△4.4	215.52

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更：有

新規 一社 (社名) 、除外 1社 (社名) 健創製薬株式会社

(注) 詳細は、添付資料P. 9「2. 中間連結財務諸表及び主な注記(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項(当中間期における連結範囲の重要な変更に関する注記)」をご覧ください。

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、添付資料P. 9「2. 中間連結財務諸表及び主な注記(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項(中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2026年3月期中間期	52,119,190株	2025年3月期	53,119,190株
② 期末自己株式数	2026年3月期中間期	8,039,707株	2025年3月期	9,039,667株
③ 期中平均株式数(中間期)	2026年3月期中間期	44,079,485株	2025年3月期中間期	44,079,667株

(注) 2025年8月5日開催の取締役会決議に基づき、2025年8月27日付で自己株式1,000,000株を消却しております。

※ 第2四半期(中間期)決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 経営成績等の概況(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当中間期の経営成績の概況	2
(2) 当中間期の財政状態の概況	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間連結貸借対照表	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	6
中間連結損益計算書	6
中間連結包括利益計算書	7
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	9
(当中間期における連結範囲の重要な変更に関する注記)	9
(中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)	9
(セグメント情報等の注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(重要な後発事象の注記)	11
3. 補足情報	11
(1) 主要製商品売上高 連結	11
(2) 新薬パイプラインの状況	12

1. 経営成績等の概況

（1）当中間期の経営成績の概況

当中間連結会計期間の売上高は、399億60百万円（前年同中間期比5.8%減）となりました。営業利益につきましては、売上の減少に加え、原価や海外子会社の基幹システム投資などの経費の増加により36億41百万円（前年同中間期比43.6%減）となりました。また、前期は約13億円という多額の為替差益を計上いたしましたが、今期は約10億円の為替差損に転じたため、経常利益は26億56百万円（前年同中間期比66.6%減）、親会社株主に帰属する中間純利益は17億37百万円（前年同中間期比71.3%減）となりました。

セグメント別の業績は、次のとおりであります。

①医療用医薬品事業

国内市場におきましては、薬価改定や長期収載品の選定療養制度、競合品の影響などにより厳しい状況が続きました。海外市場におきましては、主要市場であるイギリス、フランス等は引き続き順調に推移いたしました。一部地域での前年度第4四半期の出荷が大幅に増えたことに伴う反動の影響に加え、アサコールの製造を委託している工場での生産設備に不具合が発生し、一定期間十分な製品供給が受けられなかったことなどから、当中間連結会計期間の売上は、前中間連結会計期間に比べて減少いたしました。なお、当該生産設備は復旧し、既に製品供給体制は正常化しております。

2025年3月に国内での販売を開始した高カリウム血症治療薬「ビルタサ懸濁用散分包8.4g」につきましては、早期の市場浸透に努めております。

これらの結果、当事業の売上高は、262億8百万円（前年同中間期比8.2%減）となりました。

②コンシューマーヘルスケア事業

主力製品である「ヘパリーゼ群」や「コンドロイチン群」、植物性便秘薬「ウィズワン群」につきましては、広告宣伝投資の効果などもあり、売上は増加いたしました。一方、「プレバリン群」や「マスデント群」などの一部製品は競合品の影響などにより、売上は減少いたしました。

なお、当中間連結会計期間中に「ヘパリーゼ胃腸内服液EX」「ヘパリーゼ胃腸ドリンク」「イオナエフナイトラッピングパック」などの新製品を発売いたしました。

これらの結果、当事業の売上高は、136億75百万円（前年同中間期比0.9%減）となりました。

③その他

保険代理業・不動産賃貸収入などにより、当事業の売上高は76百万円（前年同中間期比1.6%増）となりました。

（2）当中間期の財政状態の概況

①資産、負債及び純資産の状況

当中間連結会計期間末の総資産は1,587億36百万円となり、前連結会計年度末対比4億34百万円の減少となりました。その内訳は流動資産が700億9百万円で、前連結会計年度末対比4億79百万円の増加、固定資産が887億27百万円で、前連結会計年度末対比9億14百万円の減少となっております。流動資産の増減の主なものは、現金及び預金の減少9億39百万円、受取手形及び売掛金の減少18億18百万円、商品及び製品等の棚卸資産の増加32億16百万円であります。また、固定資産の増減の主なものは、無形固定資産の減少13億43百万円であります。

当中間連結会計期間末の負債合計は669億27百万円となり、前連結会計年度末対比24億47百万円の減少となりました。その内訳は流動負債が534億21百万円で、前連結会計年度末対比10億27百万円の減少、固定負債が135億5百万円で、前連結会計年度末対比14億20百万円の減少となっております。流動負債の増減の主なものは、買掛金の増加11億円、未払法人税等の減少3億4百万円、賞与引当金の減少4億46百万円、未払金の減少等流動負債その他の減少14億4百万円であります。固定負債の増減の主なものは、長期借入金の減少13億50百万円であります。

当中間連結会計期間末の純資産は918億9百万円となり、前連結会計年度末対比20億12百万円の増加となりました。これは、親会社株主に帰属する中間純利益の計上17億37百万円、前期末配当の実施10億57百万円、為替換算調整勘定の増加13億66百万円等によるものであります。

これらの結果、当中間連結会計期間末の自己資本比率は前連結会計年度末と比べ1.5%上昇し、57.8%となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当中間連結会計期間末の現金及び現金同等物（以下「資金」という）の残高は、前連結会計年度末対比9億39百万円減少し、225億27百万円となりました。これは、主に営業活動によるキャッシュ・フローが33億90百万円のプラスであったものの、投資活動によるキャッシュ・フローが15億19百万円のマイナス、財務活動によるキャッシュ・フローが33億50百万円のマイナスであったためであります。

当中間連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況とその要因は、以下のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当中間連結会計期間は33億90百万円の資金の増加となりました（前年同中間期比53億5百万円減）。これは、税金等調整前中間純利益の計上26億53百万円、減価償却費の計上31億65百万円、売上債権の減少23億26百万円、棚卸資産の増加29億8百万円、法人税等の支払い15億53百万円等によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当中間連結会計期間は15億19百万円の資金の減少となりました（前年同中間期比3億73百万円減）。これは、有形固定資産の取得による支出12億72百万円等によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当中間連結会計期間は33億50百万円の資金の減少となりました（前年同中間期比17億80百万円増）。これは、短期借入金の減少4億19百万円、長期借入金の返済による支出16億63百万円、配当金の支払い10億55百万円等によるものであります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年3月期の通期連結業績予想につきましては、2025年5月8日に公表いたしました通期連結業績予想から変更しておりません。詳細は2025年10月31日発表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (2025年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	23,592,676	22,652,694
受取手形及び売掛金	26,742,165	24,924,065
商品及び製品	8,592,660	11,062,327
仕掛品	2,352,119	2,619,134
原材料及び貯蔵品	5,489,107	5,968,432
その他	2,892,079	2,861,363
貸倒引当金	△131,114	△78,917
流動資産合計	69,529,694	70,009,099
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	6,437,985	6,207,952
土地	12,658,498	12,657,535
その他（純額）	7,544,960	7,935,113
有形固定資産合計	26,641,444	26,800,601
無形固定資産		
のれん	3,621,171	3,294,145
販売権	27,950,775	26,846,219
その他	8,789,736	8,877,398
無形固定資産合計	40,361,683	39,017,763
投資その他の資産		
投資有価証券	8,865,571	9,324,328
退職給付に係る資産	13,264,717	13,132,366
その他	541,202	485,213
貸倒引当金	△32,717	△32,593
投資その他の資産合計	22,638,773	22,909,315
固定資産合計	89,641,902	88,727,679
資産合計	159,171,596	158,736,778
負債の部		
流動負債		
買掛金	3,971,467	5,072,292
短期借入金	34,298,379	34,326,199
未払法人税等	3,773,088	3,468,139
賞与引当金	1,623,664	1,176,899
その他	10,782,461	9,378,422
流動負債合計	54,449,062	53,421,954
固定負債		
長期借入金	6,865,780	5,515,160
退職給付に係る負債	224,138	261,060
資産除去債務	56,451	56,559
その他	7,779,135	7,672,327
固定負債合計	14,925,506	13,505,108
負債合計	69,374,568	66,927,062

（単位：千円）

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (2025年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,593,398	6,593,398
資本剰余金	11,685,121	9,664,418
利益剰余金	67,207,063	67,886,836
自己株式	△18,266,472	△16,245,860
株主資本合計	67,219,110	67,898,793
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,108,422	2,486,994
為替換算調整勘定	16,995,687	18,362,277
退職給付に係る調整累計額	3,216,617	2,923,217
その他の包括利益累計額合計	22,320,727	23,772,488
非支配株主持分	257,189	138,433
純資産合計	89,797,027	91,809,716
負債純資産合計	159,171,596	158,736,778

（2）中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書
（中間連結損益計算書）

（単位：千円）

	前中間連結会計期間 （自 2024年4月1日 至 2024年9月30日）	当中間連結会計期間 （自 2025年4月1日 至 2025年9月30日）
売上高	42,422,617	39,960,908
売上原価	11,409,066	11,169,685
売上総利益	31,013,551	28,791,222
販売費及び一般管理費	24,554,334	25,150,109
営業利益	6,459,216	3,641,113
営業外収益		
受取利息	120,528	57,850
受取配当金	225,858	251,217
為替差益	1,320,978	—
その他	124,229	131,176
営業外収益合計	1,791,596	440,243
営業外費用		
支払利息	232,249	240,107
為替差損	—	1,057,838
その他	69,188	127,129
営業外費用合計	301,438	1,425,075
経常利益	7,949,373	2,656,282
特別利益		
固定資産売却益	2,903	—
特別利益合計	2,903	—
特別損失		
固定資産売却損	—	22
固定資産除却損	3,864	2,833
投資有価証券評価損	196,543	—
特別損失合計	200,407	2,855
税金等調整前中間純利益	7,751,869	2,653,426
法人税等	1,625,522	1,007,002
中間純利益	6,126,346	1,646,424
非支配株主に帰属する中間純利益又は非支配株主に 帰属する中間純損失（△）	65,065	△91,257
親会社株主に帰属する中間純利益	6,061,280	1,737,682

（中間連結包括利益計算書）

（単位：千円）

	前中間連結会計期間 （自 2024年4月1日 至 2024年9月30日）	当中間連結会計期間 （自 2025年4月1日 至 2025年9月30日）
中間純利益	6,126,346	1,646,424
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△96,198	378,571
為替換算調整勘定	4,030,007	1,342,145
退職給付に係る調整額	△350,742	△293,400
その他の包括利益合計	3,583,067	1,427,316
中間包括利益	9,709,413	3,073,740
（内訳）		
親会社株主に係る中間包括利益	9,615,870	3,189,443
非支配株主に係る中間包括利益	93,542	△115,702

（3）中間連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

	前中間連結会計期間 （自 2024年4月1日 至 2024年9月30日）	当中間連結会計期間 （自 2025年4月1日 至 2025年9月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	7,751,869	2,653,426
減価償却費	3,386,993	3,165,021
のれん償却額	356,214	354,469
賞与引当金の増減額（△は減少）	△468,042	△453,338
退職給付に係る負債の増減額（△は減少）	32,285	△4,533
受取利息及び受取配当金	△346,387	△309,067
支払利息	232,249	240,107
為替差損益（△は益）	△436,150	446,056
投資有価証券評価損益（△は益）	196,543	—
売上債権の増減額（△は増加）	△1,667,082	2,326,671
棚卸資産の増減額（△は増加）	△93,461	△2,908,200
仕入債務の増減額（△は減少）	344,542	967,276
その他の流動資産の増減額（△は増加）	△66,069	△485,080
その他の流動負債の増減額（△は減少）	110,575	△804,175
退職給付に係る資産の増減額（△は増加）	△413,269	△280,799
その他	18,212	△26,869
小計	8,939,022	4,880,964
利息及び配当金の受取額	346,377	308,927
利息の支払額	△255,680	△245,992
法人税等の支払額	△334,569	△1,553,780
営業活動によるキャッシュ・フロー	8,695,150	3,390,119
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△430,577	△125,000
定期預金の払戻による収入	125,000	125,000
有形固定資産の取得による支出	△732,099	△1,272,304
無形固定資産の取得による支出	△116,966	△247,292
その他	8,391	△62
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,146,251	△1,519,658
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（△は減少）	△928,550	△419,000
長期借入れによる収入	1,000,000	—
長期借入金の返済による支出	△4,039,090	△1,663,500
リース債務の返済による支出	△196,698	△209,923
自己株式の取得による支出	△626	△90
配当金の支払額	△965,969	△1,055,667
非支配株主への配当金の支払額	—	△2,717
財務活動によるキャッシュ・フロー	△5,130,935	△3,350,899
現金及び現金同等物に係る換算差額	1,146,622	540,456
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	3,564,586	△939,982
現金及び現金同等物の期首残高	18,604,144	23,467,676
現金及び現金同等物の中間期末残高	22,168,731	22,527,694

（4）中間連結財務諸表に関する注記事項

（当中間期における連結範囲の重要な変更に関する注記）

当中間連結会計期間において、当社の連結子会社でありました健創製薬株式会社は、当社を存続会社とする吸収合併により消滅したため、連結の範囲から除外しております。

（中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記）

税金費用の計算

税金費用については、当中間連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前中間純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

Ⅰ 前中間連結会計期間（自2024年4月1日 至2024年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	中間連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	医療用 医薬品事業	コンシュー マーヘルス ケア事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	28,544,724	13,802,248	42,346,972	75,645	42,422,617	—	42,422,617
セグメント間の内部 売上高又は振替高	5,457	64	5,521	300,214	305,736	△305,736	—
計	28,550,181	13,802,313	42,352,494	375,859	42,728,354	△305,736	42,422,617
セグメント利益	5,830,595	3,121,985	8,952,580	118,312	9,070,892	△2,611,676	6,459,216

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、保険代理業及び不動産業等の事業を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額△2,611,676千円は、主に報告セグメントに配分していない一般管理費等の全社費用であります。

3 セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当中間連結会計期間（自2025年4月1日 至2025年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	中間連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	医療用 医薬品事業	コンシュー マーヘルス ケア事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	26,208,664	13,675,354	39,884,019	76,889	39,960,908	—	39,960,908
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	48	48	239,130	239,178	△239,178	—
計	26,208,664	13,675,402	39,884,067	316,019	40,200,087	△239,178	39,960,908
セグメント利益	3,422,072	3,170,897	6,592,969	88,531	6,681,501	△3,040,387	3,641,113

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、保険代理業及び不動産業等の事業を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額△3,040,387千円は、主に報告セグメントに配分していない一般管理費等の全社費用であります。

3 セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（重要な後発事象の注記）

自己株式の消却

当社は、2025年11月5日開催の取締役会において、会社法第178条の規定に基づき、当社が保有する自己株式の消却を行うことについて決議いたしました。

詳細は、2025年11月5日公表の「自己株式の消却に関するお知らせ」をご覧ください。

3. 補足情報

（1）主要製商品売上高 連結

（単位：千円）

	前中間連結会計期間 （自 2024年4月1日 至 2024年9月30日）	当中間連結会計期間 （自 2025年4月1日 至 2025年9月30日）	増減（△）率（％）
1. 医療用医薬品事業	28,544,724	26,208,664	△8.2
ディフィクリア	9,889,515	9,852,150	△0.4
アサコール	11,254,403	9,843,956	△12.5
エントコート	2,630,933	1,850,690	△29.7
アコファイド	1,526,589	1,568,239	2.7
その他	3,243,282	3,093,627	△4.6
2. コンシューマーヘルスケア事業	13,802,248	13,675,354	△0.9
ヘパリーゼ群	5,877,864	6,427,756	9.4
コンドロイチン群	2,825,598	2,897,235	2.5
ウィズワン群	722,551	737,757	2.1
その他	4,376,234	3,612,604	△17.4
3. その他の事業	75,645	76,889	1.6
合 計	42,422,617	39,960,908	△5.8

（2）新薬パイプラインの状況

Ⅰ．国内開発状況

（2025年11月5日現在）

開発段階	開発番号／一般名	開発	適応症	作用機序及び特長	起源
フェーズⅢ	Z-338／アコチアミド	ゼリア	小児機能性ディスペプシア	上部消化管運動改善作用	自社品
フェーズⅡ	ZG-802／アコチアミド	ゼリア	低活動膀胱	下部尿路機能改善作用	自社品
フェーズⅡ （特定臨床研究）	Z-100	特定非営利活動法人 North East Japan Study Group	非小細胞肺癌	免疫調節作用	自社品

Ⅱ．海外開発状況

開発段階	開発番号／一般名	開発	適応症	作用機序及び特長	起源
承認 （ニカラグア）	Z-338／アコチアミド	Faes Farma	機能性ディスペプシア	上部消化管運動改善作用	自社品（導出）
申請中 （ベトナム）	Z-338／アコチアミド	Pharmaceutical Joint Stock Company of February 3rd	機能性ディスペプシア	上部消化管運動改善作用	自社品
申請中 （コロンビア、 コスタリカ、パナマ）	Z-338／アコチアミド	Faes Farma	機能性ディスペプシア	上部消化管運動改善作用	自社品（導出）
フェーズⅢ （欧州、米国、カナダ）	Z-338／アコチアミド	Agastra-Lab s.r.l.	機能性ディスペプシア	上部消化管運動改善作用	自社品（導出）

発売となった開発品

発売日	開発番号／一般名	開発	適応症	作用機序及び特長	起源
2024年11月 （ペルー）	Z-338／アコチアミド	Faes Farma	機能性ディスペプシア	上部消化管運動改善作用	自社品（導出）
2025年3月 （日本）	ZG-801／ パチロマーソルビテクスカルシウム （販売名：ビルタサ懸濁用散分包8.4g）	ゼリア	高カリウム血症	陽イオン結合非吸収性 ポリマー	導入品